



特集

小松チューブエンジニアリング 5年後の未来予想図

栄グループの最新情報をお届け

GROUP TODAY

SG会戦後70年を検証する

新しい仲間を紹介します

New Face



大釜哲の熱血レポートVol.5

今号のPICKUP2

自動車保険について、詳しく知るう!

小松チューブエンジニアリング株式会社 中村 修工場長(左)、千代 俊彦社長(右)

ありがとうございました

小松商事株式会社 飲食事業部 和田 厚則さん

栄グループの従業員へメッセージをお願いします。

入社当時の枚方梱包株式会社から現小松商事株式会社まで、約20年もの長きにわたって頑張り続けられたのも、皆様の支えがあったからこそです。無事定年を迎えたことにホッとすると共に、感謝の気持ちでいっぱいです。これからは若いスタッフを中心となり、様々なことに取り組んで銀扇を盛り立てていってください。また、多くのお客様にご来店いただき、喜んでいただくためにも、特に火の元の管理には細心の注意を払って、無事故で営業できるよう頑張ってください。本当に長い間お世話になり、ありがとうございました。



和田 厚則 (ワダ アツノリ)
1953年1月25日生まれ
入社 1993年11月
退職 2016年10月31日

「申処 銀扇」の料理長をされていた和田さんはとても気さくで、お店の常連さんやスタッフにとっても慕われていました。色々ご苦労があられたと思います。これからも栄グループを応援してください。

栄運輸工業株式会社 泉北支店 堺営業所 佐野 雅則さん

栄グループの従業員へメッセージをお願いします。

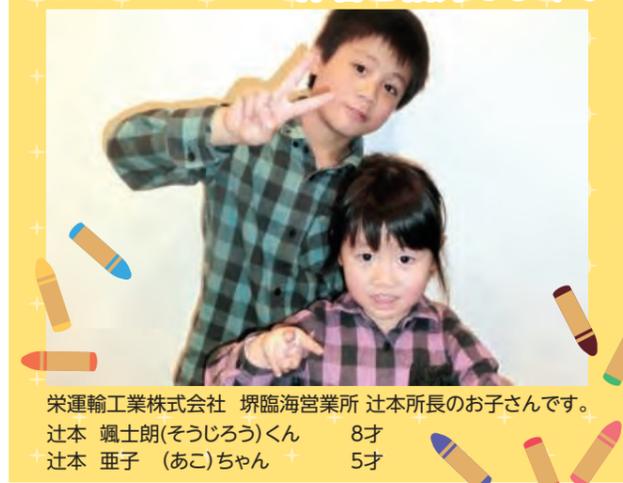
入社当時は仕事の「し」の字も分からない新人で、右も左も分からないままひたすら頑張ってきました。時には、ベテラン従業員さん達との関わりかたに悩むこともありましたが、業務を通じチームワークの重要性や自己管理などを学ばせていただきました。11月で定年となりますが、今後も働く機会を与えていただいた小松社長をはじめ皆様に深く感謝しています。自分の役目が終わるまで今までと変わらず職務を完遂して参りますので今後も変わらぬご指導、ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。



佐野 雅則 (サノ マサノリ)
1956年11月16日生まれ
入社 2013年4月
退職 2016年11月16日

佐野さんは、定年退職後も囑託として残っていただき、これからも栄運輸工業で活躍されることを期待しています。引き続きお世話になりますので、これからもよろしくお願いいたします。

「うろこも〜しょん」 タイトルロゴの作者を紹介します!



栄運輸工業株式会社 堺臨海営業所 辻本所長のお子さんです。
辻本 颯土朗(そうじろう)くん 8才
辻本 垂子 (あこ)ちゃん 5才

編集後記

編集長の黒木です。今回の新年号いかがでしたか? うろこも〜しょんで、取り上げて欲しい情報や栄グループの皆さんに伝えたい想いがありましたら、各うろこも〜しょん委員のメンバーまでご連絡ください!! よろしく願いいたします!!

【タイトルロゴ募集・ご意見ください】

表紙のタイトルロゴや「うろこも〜しょん」に関するご意見を募集しております。下記受付までお寄せください。

担当: 黒木 r-kuroki@sakae-uk.co.jp

栄グループ社内報「うろこも〜しょん」は栄グループホームページからもご覧いただけます。
<http://sakae-group.jp/>



5 小松チューブエンジニアリング 年後の未来予想図

小松チューブエンジニアリングが抱えている顧客依存によって左右しかねない経営問題。直面する危機に対してどのような戦略展開を行うか、現状をどう変化させるか… 5年後を見据えた計画を徹底紹介！

社内に研究開発部門を持ち
自社製品の開発を開始！

製作可否検討

自社で図面を作成

図面の仕様変更

社内
プロジェクト
立ち上げ!!



試行錯誤を
何度も繰り返し
徐々に形に!!



大幅な組織改革！
生き残りをかけた挑戦！

関連部門の統合

指揮命令系統の明確化

毎月一回の部門長ミーティング



Down



経営ピンチ!!
過去最大の赤字額

小松チューブエンジニアリング初の自社製品の納入

部材調達

プロトタイプ製作

実車テスト



ついに
完成!!



生き残る会社になるための
改革をするぞ!



FIGHT!!

きつかけは「経営危機」
小松チューブエンジニアリング株式会社は、栄グループの中で唯一の製造業として、株式会社小松製作所様(以下コマツ様)の油圧配管などを製造する会社です。
コマツ様とは良好な関係を築いており、最も重要な得意先です。
しかし平成24年より減産傾向が続いたことに影響を受け、平成27年度に小松チューブエンジニアリングは過去最大の赤字額となりました。まさにかつてない「経営危機」です。
社内では従業員の士気も下がり、品質不具合や納期遅れが頻発しました。

最も重要視するのは
自社製品開発と新規顧客開拓

小松チューブエンジニアリングの経営上の問題は、顧客依存によって生産量に大きく影響を受けてしまい、依存度が大きくなればなるほど、受注量の増減に経営資源の配分がついていけなくなることです。
また、小松チューブエンジニアリングは製造業ですが、自社製品というものがありません。現在の製品は、すべてお客様の図面に基づき製造しているもので、ほぼ受注生産であると言えます。

確かに在庫を抱えるリスクは小さいけれど、その反面、戦略的に価格改定を行うこともできなければ、自社のペースで生産調整することもできません。

この状況を打破するために、まずは組織改革を行いました。平成28年4月1日、七つあった部のうち、関連性の高い部を統合し、四つの部に集約しました。

また、組織としての機能を失わないよう、指示命令系統を明確にし、各部署の部長が統合された部の機能を管理するようにしました。

また、経営方針をより従業員に浸透させるために、毎月一回、経営会議とは別に、社長と各部長が認識を共有するためのミーティングを

行うようにしました。

このミーティングは実際の組織運営に非常に重要なもので、時には4時間以上も議論することがありました。

そして、自分たちは小松チューブエンジニアリングをどのような会社にしていきたいのかを考え、「5年後の未来予想図」をつくっていきました。

新しい事業への挑戦

「5年後の未来予想図」に向けて、小松チューブエンジニアリングでは、今まで培ってきた自社の技術力を客観的に捉え、それを社会が求めているものにどう活かせるのか、といったことを追求できていませんでした。

しかしここ1〜2年は、コマツ様の関連企業から製品開発の引き合いがあったり、ビジネスマッチング機関からの紹介など、新しい仕事に取り組みことも増えてきました。

一つめは、自社製品の開発。

コマツ建機販売株式会社様より「外装部品の取り付けを、簡単かつ安全に行える器具はできないだろうか?」という要望があり、社内でプロジェクトを立ち上げ、製作することになりました。

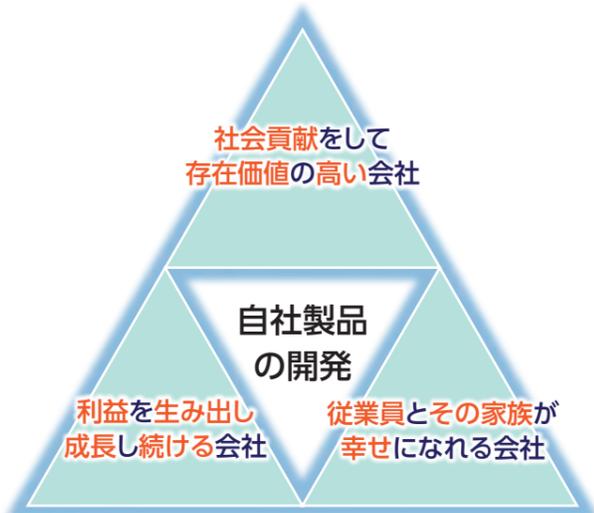
このプロジェクトは平成27年8月にキックオフミーティングを行い、納得のいく仕様にするためのアイデアを出し合い、自社で図面を作成、様々なシヨベルカーでテストを重ね、幾度となく仕様変更を加えてプロトタイプが完成しました。

平成28年4月には完成製品としてコマツの販売店に納品となり、小松チューブエンジニアリング初の自社製品の納入となりました。

まだスタート地点に立ったばかりですが、お客様の問題解決となるような製品を提案し、自社製品を開発していくことで、今後ノウハウが蓄積されていくことでしょう。

二つめは、鉄道車両のブレーキ部品の製造。某鉄道車両メーカー様の鉄道車両部品の製

「小松チューブエンジニアリング 事業方針」



日本経済の発展と環境保護の観点による、社会貢献度の大きい事業の推進

他社が模倣できない独自技術の展開

ものづくりの技術者育成と技能継承

尊敬される人格と一流の言動を身に付ける人材育成

意欲的な人材やスキルの高い人材が、積極的に働きたいと思える会社づくり

社外機関と共同で行う、継続的な研究開発の推進

可能性を信じて
これからも挑戦
し続けます!!



「建設機械用配管メーカー」から「総合金属加工メーカー」へ
小松チューブエンジニアリングは現在、建設機械用の配管を製造している企業です。しかし、将来は配管だけではなく製品も含めた様々な形状のものを、曲げや溶接だけではなく様々な加工を施せる業態を目指していきます。もちろん、鉄製品だけではなく、ステンレスやチタンといった素材を取り扱っていきます。そうならば総合金属加工メーカーといえるでしょう。事業規模を拡大させることで、小松チューブエンジニアリングの知名度も上がっていくかもしれません。そのためには、工場や設備といったハード面の拡充だけでなく、技術や社内制度といったソフト面でも充実させなければなりません。何よりも大切なのは人材育成で、技能継承による技術やノウハウを若い世代にも習得させることを社内文化としていかなければなりませんし、ものの考え方や人間性についても一流になっていく必要があります。自社製品開発に対しても、現在の小松チューブエンジニアリングの強みを活かし、新しい高圧配管製品の開発や、新しい付加価値を持つ生産財の安定供給に取り組むなど、会社を成長させるという意欲を持たなくてはならないと考えています。まだまだ小松チューブエンジニアリングはスタート地点に立ったばかりですが、明るい未来を見据え、気持ちを引き締めて臨んでいきたいと考えています。そして、本当に「5年後の未来予想図」を実現すれば、過去を振り返った時に、今直面している問題が結果的に会社を強くしたのだと実感できると思います。これからの小松チューブエンジニアリングにご期待ください。

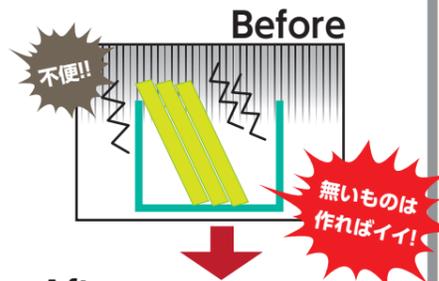
鉄製品にこだわらず、自社製品を開発!!
自社ブランドを持つことで、総合金属加工メーカーとして世界中のお客様と取引ができるようになる!!



●自社製品開発で強みを!

パイプ専用パレット

お客様のお困り事:パイプをパレットに斜めに挿し収納
収納効率減、取り出し効率減+作業者への負荷大



両端を開閉可能にすることで 収納効率up+取り出し効率up+安全性向上!

当初10台発注から、追加発注を頂くことに!



●水素ステーションの需要拡大

極東油業:水素ステーション展開
↓
小松チューブ:水素ステーション用配管製造
↓
栄運輸工業:水素運搬
↓
水素社会への更なる貢献



造が始まりました。約半年間かけて準備をし、製造に必要な溶接資格を二名の従業員が取得し、設備も導入して取り組みました。鉄道車両のブレイキ部品は人命を預かる重要なものであり、それだけ小松チューブエンジニアリングの技術力を評価していただいているのだと考えています。今後も安定的に部品を供給し、新規事業の獲得にもつなげていきたいと思っています。三つめは、環境保護の観点での社会貢献。現段階ではまだ開発の途中ですが、未来のインフラ整備に貢献するための研究開発を行っていきます。例えば、燃料電池車が普及し始めると必要不可欠な水素ステーション用配管に挑戦。高圧の水素が通る配管は、とても特殊な素材のパイプなので、今まで蓄積してきたノウハウでは通用しないことが多くあります。二酸化炭素の排出量に関する基準が年々厳しくなっている状況で、水素ステーション用の配管を供給していくためには、国に事業認可を得る必要があるなど、課題は多いですが、社会に大きく貢献できるのではないかと考えています。他にもまだまだ規模は小さいのですが、ステンレス製品の製造も実績を重ねており、近い将来にはステンレス製品専用の作業スペースと設備、人員を確保して、事業拡大を目指していきます。今後の展望としては、マーケティング活動にも力を入れていき、市場ニーズの把握を始めるために、PR戦略や市場創造にも発展させていきたいと思っています。また、産学連携や他社との共同で今までになかった製造方法を開発していくことで、いずれは小松チューブエンジニアリングが、名実ともに製造分野におけるリーディングカンパニーとなるべく、地位を確立させていきたいと思っています。

GROUP TODAY

2016年7月～11月 栄グループの最新情報をお届けします！



☆団体戦(写真左から)小松社長、藤山部長、櫻木社長、池上部長、久田里課長



☆個人戦 写真左が小松社長、右が藤山部長

団体戦	個人戦
1位 枚方梱包株式会社 櫻木 武志社長、池上 真一郎部長、藤山 進部長、久田里 尚弥課長	1位 藤山 進部長 枚方梱包株式会社 NET72 2位 山下 和敏参事 極東油業株式会社 NET73 3位 桑原 純部長 枚方梱包株式会社 NET73 ※NETが同率の時はハンデが少ない方を上位とします。

栄グループ

ゴルフコンペ結果ご報告

11月20日、城山ゴルフ倶楽部で行われたうろこ会ゴルフコンペの結果をご報告します。当日はあいにくの天気となつてしまい、コースのコンディションも決して良いとは言えない条件の中、皆さん大健闘！入賞された皆さん、おめでとうござります。



毎月の安全衛生委員会では、計画的に職場環境の改善に取り組んだ結果、平成28年7月に連続無災害記録2000日を達成する事ができました。現在も高い安全意識を全従業員が持ちながら記録を更新中です。

部署ごとの安全日誌に記入されたヒヤリ・ハット・キガカリはゼロ災リーダーが中心となつて情報の共有化を図りました。



櫻木社長と各班ゼロ災リーダー

枚方梱包 連続無災害記録 2000日達成

SG会 ～戦後70年を迎えて～

戦争を絶対に起こしてはいけない…平和への願いを込めて



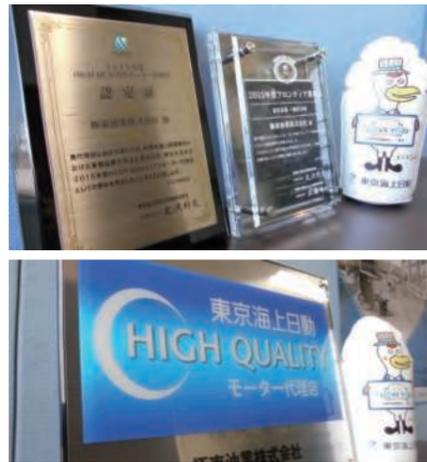
敗戦後、日本に残った様々な問題(歴史認識、アメリカ軍基地、安全保障条約、従軍慰安婦、日本の領土・領域、政治と靖国神社)は未だ解決しないどころか、国際情勢をも巻き込み、再び平和が脅かされかねないとも限りません。

もしも、太平洋戦争が起これなければ、日本が戦争に敗れていなければ、大阪が焼け野原にならなければ、果たして創業者の小松正義は栄組を起こしていたのだろうか…。

栄グループは今とは違った企業として存在していたかも知れない…。そして、今の日本があるのは、小松正義をはじめとする先人たちが戦後の復興に心血を注いだからだということを決して忘れてはならない。戦争は人を殺す、物を破壊するだけで何も生まない、私たちはもう二度と同じ過ちを繰り返さない…という結論に至りました。

戦争を知らない世代が国民の8割を超えた今、平和の大切さを改めて考える機会となりました。

このうろこもしよんを読んでいる皆さんも、日本と世界を取り巻く様々な問題に触れ、今一度戦争と平和について思いを巡らせて欲しいと思います。



極東油業保険事業部はこの度、東京海上日動様より2015年度「HIGH QUALITY」代理店の認定表彰を受けました。これは、東京海上日動様が定める基準により、お客様への保険・サービスの提案力、万が一の事故の際の対応、保険代理店としての事業の健全性、安定性、成長性が総合的に高く評価された代理店のみ、公式認定されます。そしてもうひとつ、東京海上日動様より2015年度「フロンティア倶楽部」も認定表彰を受けました。

こちら、現在加入中の保険との比較・見直し、補償内容の合理化など、お客様のことを一番に考えた保険を提案し、活動してきたことを評価されました。

今回このような栄誉をいただいたのも、ひとえにお客様や、支えてくださった皆様方のご支援とご協力があったからこそです。

これからも皆様の安全と安心を一番に願い、感謝の気持ちを忘れず、より一層のサービス向上を目標に頑張っています！

極東油業 HIGH QUALITY 代理店認定 フロンティア倶楽部認定

小松興産 栄ビル空調機 全館入替完了

11月7日から11月末日にかけて、栄ビル全館の空調機入替工事を実施しました！満を持して導入された新しい空調機、その名も『高効率空調』！

設定温度に合わせた自動温度調節、自動節電モードなど新機能目押しで現在絶賛稼働中です！

これまでは、栄ビル1階守衛室にてオン・オフの切り替えを実施しており、設定温度もフロア単位でしか切り替えることができませんでしたが、新設空調機は、各フロア単位でのオン・オフ、各部屋単位での温度設定も可能になりました！

これにより小松興産株式会社は、CO₂削減を実現し、環境にやさしい会社を目指します！

11月10日、枚方支店運転手の山崎隆志さんが、北大阪商工会議所より平成28年度優良従業員表彰を受賞しました。

山崎さんは、フォークリフト作業や履帯積込作業、トラック乗務員と色々な業種にチャレンジし、大きな事故や怪我をすることなく仕事に従事してきた事が評価され、今回の表彰となりました。



栄運輸工業 枚方支店 平成28年度 優良従業員表彰受賞

大釜哲の熱血レポート!

泉北支店安全パトロール編

vol.5



今回は、栄運輸工業泉北支店泉北営業所にて実施された、栄グループ安全パトロールに密着する。

泉北支店泉北営業所は、本誌13号「GROUP TODAY」に掲載されているように、安全への取り組みを積極的に行っている事業所だ。11月15日に実施された栄グループ安全パトロールに同行し、実際にどのような取り組みをしているのかを探ってみた。

栄運輸工業枚方支店の長谷川支店長と一緒に泉北営業所を訪れ、オープニングミーティングから参加。

かねてより課題となっていたテーマの進捗確認や、今回のパトロールの着眼点などを確認していき現場へ。現場は日鐵住金建材様の構内作業場で、倉庫作業や製品出荷作業を請け負っているところだ。

スーツでは構内作業場では非常に目立ち、部外者と誤解される恐れがあるので、栄運輸工業の作業着を拝借することに…少しだけ栄運輸工業の社員になったような気がしてワクワクした。

(※筆者は小松チューブエンジニアリング所属)

泉北営業所西出所長の案内で現場に到着、まず目に付いたのは物量の多さだ。

ガードレールの部材が人の背丈ほどまで積まれており、それを泉北営業所の従業員がクレーンで移動させる作業を行っていた。

ガードレールの部材は当然鉄で、幅数十cm、長さ2~3mのガードレールが何十枚も重なって一つの束になっており、これを移動させることは当然危険が伴う。荷崩れ、挟まれ、激突…、そういった「危険予知」をして改善案を出すことがこの安全パトロールの目的だ。泉北営業所では特に手の挟まれについてしっかりと対策を取っている。

なぜなら、クレーンで製品を運ぶ時に、直接吊り荷に手を触れると、製品と製品の間に手を挟む恐れがあるからだ。

今回はそれを根本から解消する対策を実践していた。

泉北営業所ではスタッフの河合さんの発案で、直接吊り荷に触らないように「手鉤」というものを自作し現場で使用している。

これは、製品に存在する穴に引っ掛けたり、自転車のブレーキのように物を挟んで持ち上げることができる道具だ。

実際、この「手鉤」のおかげで従業員が手を挟む災害がおこらなくなったそうだ。

危険は、いつ、どのような形で現れるか分からない。「気をつける」意識も重要だが、本当の意味での危険回避はできず、根本的な安全対策が必要なのだ。そういった意味で、低コストで大きな効果を発揮しているこの「手鉤」はとても画期的対策なのである。

河合さん、スゴイ!

現在栄グループは「災害ゼロ」を目標とし、発生を未然に防ぐ活動に力を入れている。

今回参加させていただいた栄グループ安全パトロールはその一環だ。

安全パトロールによって各事業所の活動を他の事業所の従業員が見ることができ、お互いに指摘して改善を行い、また、良いものは自分たちの事業所にも導入していくという、好循環が生まれるのだ。

泉北営業所では、日鐵住金建材様の大切な製品を運搬している。

また、ガードレールは近畿圏だけでなく、中部地方や九州地方にも運ばれ、交通上の安全に役立っている。さらに、ビルの床材や住宅用の建材も運搬しており、大手スーパーや有名テーマパークにも利用されることもあるという。

安全作業を徹底することで、これらの運搬が滞りなく行われ、社会のインフラ整備に役立っているのだと感じた。

「安全第一」という標語があるように、「安全」は何ものにも優先することだ。労働災害が発生すると、本人や家族が不幸になるだけでなく、お客様にも迷惑をかけてしまうことになる。今回改めて安全への思いが強くなった!

(写真左から)
泉北営業所の山田課長・大釜・河合さん



New Face

新しく栄グループに入社した
皆さんをご紹介します!

新しい仲間を
紹介します!

2016年6月入社



極東油業株式会社
山本 雄一朗さん

2016年11月入社



極東油業株式会社
川本 隆彦さん

2016年6月入社



枚方梱包株式会社 粟津工場
天野 和幸さん

2016年10月入社



栄運輸工業株式会社 忠岡営業所
小野 秀一さん

2016年10月入社



栄運輸工業株式会社 阪神支店
黒木 正知さん

2016年5月入社



小松チューブエンジニアリング株式会社
高橋 直大さん

2016年5月入社



小松チューブエンジニアリング株式会社
武田 清次さん

2016年5月入社



小松チューブエンジニアリング株式会社
黒川 大介さん

2016年8月入社



小松チューブエンジニアリング株式会社
畑 昇一さん

2016年9月入社



小松チューブエンジニアリング株式会社
中村 健太さん

2016年9月入社



小松チューブエンジニアリング株式会社
川原 匡史さん

2016年9月入社



小松チューブエンジニアリング株式会社
太田 信さん

2016年9月入社



小松チューブエンジニアリング株式会社
鈴木 直之さん

2016年10月入社



小松チューブエンジニアリング株式会社
横山 康孝さん

2016年10月入社



小松チューブエンジニアリング株式会社
吉川 正一さん

2016年10月入社



小松チューブエンジニアリング株式会社
北田 輝夫さん

2016年10月入社



小松チューブエンジニアリング株式会社
平田 真秀さん

2016年11月入社



小松チューブエンジニアリング株式会社
有元 勇太さん

自動車保険について、詳しく知ろう!

ガンリンスタンドで自動車保険に加入できること、あなたをご存知ですか?

■保険加入の比較

	保険代理店	インターネット	ガンリンスタンド
とにかく保険料金を抑えたい 保険料金が格段に安い	○	◎	○
対面で相談したい 細かい部分まで説明して欲しい	◎	△	◎
故障やトラブル対応して欲しい 車をメンテナンスして欲しい	○	△	◎
いつでも気軽にアドバイスが欲しい 車の事をすべて任せたい	○	△	◎



極東油業株式会社 保険事業部
熊村 儀動さん

自動車保険、数年前に加入したままになっていませんか?

家族構成や年齢などで自動車保険の保険料が変わることがあります!

自動車保険では、様々な要素をもとに保険料を算定しています。例えば、若い人ほど運転に不慣れで事故率が高いため、保険料は高く設定されています。なので、保険の年齢条件をそのままにしていると、当然保険料は高くなってしまいますよ。

運転者年齢条件は、保険契約でも大切なポイントで、設定をすることで保険料を安くできる一方で、それ以外の方は運転ができなくなってしまうデメリットもあります。なので、誰が自動車を運転するのかをしっかりと想定しながら最適な条件を設定することが大切なのです。

運転するのが自分ひとりならまだしも、家族も運転する場合は、最も若い人に合わせる必要があるのです。当然保険料が高くなります。年齢条件は、自分や運転する家族の状況に合わせてみて下さい。

正しい補償を受けるためにも、年齢条件や運転者条件など、家族などの使用状況をちゃんと確認しましょうね!
でも、代理店だと何だか敷居が高い気がするし、インターネット通販はサポートセンターが話中…。そんな時に頼って欲しいのが、サービスデスクです!

自動車保険加入キャンペーン

キャンペーン期間:2017年3月31日まで

栄グループ
従業員限定



見積もりご予約の方に…
マックカード500円分プレゼント!

見積もりをご予約いただいた方に、全国のマクドナルドでご利用いただける500円分のマックカードをプレゼント!

自動車保険ご契約の方に…

銀扇ペア食事券または玄米花子10kgプレゼント!

自動車保険を新規ご契約いただいた方に、串処銀扇食事券をペアで、または玄米花子の玄米10kgをプレゼント!!プレゼントはどちらかお選びください!



- ・見積もり予約時、車検証と現在加入されている自動車保険証券をご提示ください。
- ・キャンペーンのプレゼントは自動車保険1件につき、1つとなります。
- ・キャンペーン対象者は極東油業との新規お取引に限りです。
- ・栄グループ従業員からのご紹介者であれば、栄グループの従業員以外でも対象となります。

問い合わせ

極東油業株式会社保険事業部 熊村(クマムラ)まで TEL.06-6356-4377 kumamura@kokk.co.jp

キャンペーン期間中に自動車保険をご成約を頂いた皆様
(本社)木村 隆二様、(小松チューブ)平山 茂様、(本社)増田 敦様、ありがとうございます!!



お客様に保険について詳しく説明

極東油業のサービスステーションで自動車保険の取り扱いを始めました。極東油業のサービスステーションでは、サービスの拡大として、お客様のお車をお守りする自動車保険のサービスを始めました。車検に来られたお客様へ、お車本体の点検だけでなく、加入されている保険についても点検を行うサービスを実施し、カーライフをトータルサポートすることを目標に取り組みます。

極東油業の保険事業部では、保険の案内の対象となるお客様を増やすために、自ら現場に出向き、サービスステーションのスタッフと共に、御来店のお客様へ車検の案内を行ったリ、給油にご来店されるお客様全員に車検のチラシを配り、情報提供に努めています。お客様は給油に行ったついでに、保険や車検

について気軽にスタッフに聞けるといったメリットがあります。なぜならサービスステーションは、自動車販売店や整備工場と比べて、圧倒的に車での来店回数が多いからです。そこで、車の小さな異変に気づいてもらえたり、些細なことでも相談できれば、これ以上便利なお店はありません。また、修理などの相談もできますから、実際に事故をした時、サービスステーションで保険に加入しておく、通常ならば、保険代理店に電話し、修理工場に電話し、修理代や、保険料金の变化の確認をしたりと、窓口が分かれてしまっても不便ですが、1つの窓口で解決することができます。

極東油業社員一同 全力で皆様の安全、安心をサポートします! 極東油業では、保険事業部の職員だけでなく、サービスステーションのスタッフも、保険の資格をもっている社員が在籍しております。極東油業全社員が損害保険募集人資格を取得する活動を行っており、だれでもお客様に価値提供できる環境を整えていくように成長しています。どんな保険が自分に最適なのか、よくわからないと思われる方もいるでしょう。そんな時は、お気軽に熊村にお尋ねください。

